

岡山市立中央図書館企画展示

写真で見る 岡山市の移動図書館 のあゆみ

会期 令和3年7月17日(土)～8月15日(日)
※月曜休館(8月9日(月・振休)は開館)

会場 岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール前展示コーナー

今年3月、新しい移動図書館車が導入されました。

これを契機に、岡山市立図書館が開館した大正時代からの移動図書館のあゆみを振り返ります。

また、移動図書館車の製作過程、最近の移動図書館の活動の様子もあわせて紹介します。



(1)移動図書館車 新「あおぞら3号」ができるまで

移動図書館車の製作は1台1台が手作りです。

今年3月に納車された移動図書館車「あおぞら3号」の架装部分(車の骨格に積載されている装備)の製作過程を写真で紹介します。(写真提供:株式会社林田製作所)

主な工程

- ①シャーシ(車の基本骨格)の搬入
 - ②鉄工工程
 - ③板金工程
 - ④塗装工程
 - ⑤艀装(ぎそう)工程
- ※艀装: 装備を施すこと



シャーシ(車の基本骨格)の加工



鉄工工程(構体の組み立て等)



板金工程(外板、内板の貼り付け)



塗装工程(外板、内板塗装施工)



艀装工程①（最終組付工事）



艀装工程②（書架の組み付けが完了）



艀装工程③
（車椅子用リフトの組み付けが完了）



艀装工程④
（イラストシールの貼り付けが完了）

3.5トントラックの改造により、車体の壁面を庇(ひさし)にして雨を防ぎ、車椅子の方でも車内に入ることができるようにするなど、さまざまな環境や人の利用を考慮して作られています。

車体のイラストは、きたやまようこさんの絵本「ゆうたくんちのいばりいぬ」シリーズから使わせていただきました。

(2)移動図書館のあゆみ

「すべての図書をすべての人々に」・・・これは、初代「あおぞら3号」の車体に書かれていた言葉です。

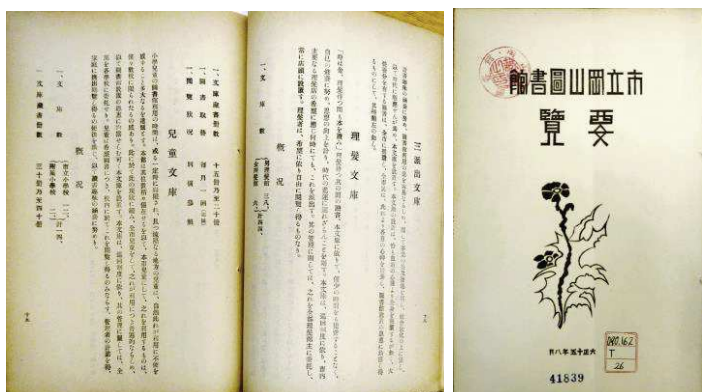
岡山市立図書館は、「図書館に来館することが困難な利用者にも図書を届けたい」という思いで、これまで活動をしてきました。それを支えたのが、移動図書館です。

移動図書館の活動を通じ、来館者だけでなく、広く市民の皆さまが本に親しみ、読書をより身近なものと感じていただけるよう努めてまいりました。

戦後、リヤカーによる移動図書館の再開。小型自動車から大型車へと積載冊数を増やし、巡回先を増やしたのも、市民の強い要望によるものでした。

これまでの活動を、写真と資料で振り返ります。

〈写真と資料〉



大正 15 年『市立岡山図書館要覧』

派出文庫等についての規定が掲載されています。

大正時代から、理髪文庫、児童文庫（学校）、郵便局、工場などへの派出文庫や、家庭配本（岡山婦人読書会）について活動があったことが分かります。



巡回文庫箱

巡回文庫箱に本や雑誌を入れ、家庭配本や公会堂（公民館）などへの巡回文庫に使い、定期的に入れ替えをしていました。

図書館から遠くに住んでいる人や、日中図書館に行けない人のために、読書ができる機会を提供する活動でした。

- ・昭和 10～20 年頃に巡回文庫で人気があった雑誌
- ・大正 13 年の「御成婚記念文庫」（当時の皇太子ご成婚記念に作られた文庫）にあった作品（同じ作品の新しい版）を展示しています。

歴代の移動図書館車



〈左〉
昭和 35 年
(プリンススカイ
ウェイ)
〈右〉
昭和 36 年
(マツダ K360)
懐かしい三輪
自動車です。



←昭和 44 年、「あおぞら号」として活動を
開始しました。(日産セドリックバン)

↓昭和 45 年、「あおぞら 2 号」命名式、始動。
前年合併した旧西大寺市民の強い要望により
活動開始。(スバルサンバーK64)



←旧本館（現在の幸町図書館の場所）の
前に、3 台並んでいます。



↑昭和 44 年頃 さくら住座巡回の様子。
車体後方に本棚が延びる移動図書館車。



↑「あおぞら 3 号」命名式に大勢の
市民が集まりました。

もっと知りたい移動図書館



↑ 移動図書館車の中の様子
こんな本がありました。

移動図書館用の書庫→

すぐに本を補充できるように、号車別に次に載せる本の用意をしています。



← 昭和 41 年

ミゼットと呼ばれた三輪自動車が廃車になり、再び、昔のように自転車で巡回する、移動図書館 “自転車”。



↓ 昭和 43 年

夏の日移動図書館。
巡回先で、本を手渡している様子です。



↓ 昭和 49 年

初代「あおぞら 3 号」命名式後、
市長を乗せて市役所までパレード。



(3)移動図書館 こんな活動をしています

移動図書館は、大型車の「あおぞら1号」、「あおぞら3号」と小型車の「あおぞら2号」、「あおぞら5号」の計4台で、市内約150か所(※)を月1回巡回しています。

※一般の巡回先の他、
団体、身障者家庭配本、
公民館を含みます。

主な巡回先は以下のとおりで、図書館の利用が困難な市民へのサービスや子どもの読書活動の推進など、重要な役割を担っています。

- 近くに図書館がない地域
- 高齢者施設・障害者施設
- 幼稚園・保育園・認定こども園
- 身障者家庭配本(※)
- 公民館(図書コーナーの本の入替)
- わくわく子どもまつり等のイベントへの出張

※重度の障害等により常時介護を必要とし、
図書館への来館が困難な方のために、ご家庭
までご希望の資料をお持ちしています。

巡回先での
貸出風景



わくわく子どもまつり in 岡山ドーム



めだかの学校 環境まつり



【主な参考文献】

- 『市立図書館要覧（大正 15 年）』岡山市立図書館，1926
- 『御成婚記念文庫図書目録』市立岡山図書館，1926
- 『市立岡山図書館要覧（昭和 5 年）』岡山市立図書館，1930
- 『岡山図書館年報（昭和 16 年）』岡山図書館，1931
- 『60 年の歩み 岡山市立図書館創立 60 周年記念誌』岡山市立図書館，1977
- 黒崎義博『岡山の図書館 岡山文化と図書館』（岡山文庫 154）日本文教出版，1991
- 『岡山市百年史 下巻』岡山市，1991
- 石川敬史「岡山市における「動く図書館」の歩み（移動図書館の足音 第 2 回）」，
『図書館車の窓 105 号』林田製作所，2016
- 『百年の歩み 岡山市立図書館創立百周年記念誌』岡山市立図書館，2018

移動図書館のあゆみ〈年表〉

年月日

移動図書館関連の出来事

大正7年(1918年)

1918年12月	岡山市立図書館開館
----------	-----------

大正11年(1922年)

1922年1月	婦人の読書趣味を養成し、思想の向上を図るため、持廻文庫制度による岡山婦人読書会を創設。
1922年3月	本館規則の一部を改正し、館外貸出図書閲覧を個人、団体の2種とし、巡回文庫、特派文庫、特設文庫の規定を設け、即日実施する。
1922年4月	文庫規定により、巡回文庫、特派文庫、理髪文庫、児童文庫、持廻文庫を実施する。
1922年5月	配本用三輪自転車(前二輪自転車)1台購入。

大正13年(1924年)

1924年4月	大正13年1月皇太子殿下ご成婚を記念して、「御成婚記念文庫」50個を設置し、市内青年団、壮年会、婦人会に無料で貸与する。
---------	--

昭和2年(1927年)

1927年4月	配本用三輪自転車(前二輪自転車)2台購入。
---------	-----------------------

昭和5年(1930年)

1930年4月	「郵便局文庫」を設置し、市内各3等郵便局へ無料貸与する。
1930年11月	「医院文庫」を設置し、市内の歯科医院に無料貸与し、患者の閲覧に供する。

昭和7年(1932年)

1932年3月	岡山婦人読書会に雑誌部を新設し、毎月新刊雑誌3種を回覧すると共に、更に配本区域を拡大し、福浜、宇野、平井へ配本を開始する。
---------	---

昭和9年(1934年)

1934年8月	宮道に海浜文庫を派出する。
---------	---------------

昭和11年(1936年)

1936年4月	図書館記念日を期し、商工文庫を特設、商工業関係図書を収集して、閲覧に供する。
---------	--

昭和46年(1971年)

1971年1月	一宮町、津高町、高松町合併
1971年3月	吉備町、妹尾町、福田村合併
1971年4月	「身体障害者家庭配本制度」を開始。
1971年5月	上道町、足守町、興除村合併

昭和47年(1972年)

1972年1月	吉備配本所を吉備公民館内に設置する。
---------	--------------------

昭和48年(1973年)

1973年8月	各地区公民館へ300冊の配本を開始。
---------	--------------------

昭和49年(1974年)

1974年1月	大型移動図書館車「あおぞら3号」命名式を挙行する。
1974年1月	あおぞら3号津高地区に初出勤し活動を開始する。
1974年5月	西大寺向州児童公園において「一日あおぞら図書館」を行う。

昭和50年(1975年)

1975年5月	藤田村合併
1975年8月	軽自動車「あおぞら2号」買替購入(スズキキャリアバン)。活動を開始する。
1975年11月	自動車文庫4台が集結する「一日あおぞら図書館」を県立総合グラウンドで開催。
1975年11月	岡山南ロータリークラブより自動車文庫用として214冊の新刊書(14万8千円)の寄贈を受ける。

昭和51年(1976年)

1976年5月	妹尾、上南の両公民館を重点館とし、1,000冊の配本を目標に図書コーナーを設置する。
1976年5月	藤田地区へ自動車文庫の巡回を開始する。
1976年2月	「一日あおぞら図書館」をあけぼの町児童公園にて開く。

昭和52年(1977年)

1977年4月	家庭配本を身体障害者家庭配本制に切替、「あおぞら5号」で配本を開始する。
1977年5月	朗読奉仕の会テープ図書作成、テープ図書の貸出を開始。

平成4年(1992年)

1992年11月	移動図書館コンピュータ化
----------	--------------

平成8年(1996年)

1996年12月	あおぞら3号買替購入(三菱CANTER 3.5tトラックシャーシ 加裝型 3,000冊積載)
----------	--

昭和27年(1952年)

1952年4月	三幡村・沖田村・操陽村・富山村(上道郡)、牧石村・大野村・白石村・今村・芳田村(御津郡)、甲浦村(児島郡)合併
1952年4月	派出文庫を開始。
1952年8月	リヤカーによる家庭配本(読書クラブ会員配本)を再開する。約150冊の図書や雑誌を毎週配本。当初会員320名。

昭和28年(1953年)

1953年3月	赤磐郡高月村の一部、御津郡牧山村の一部、岡山市へ編入。
---------	-----------------------------

昭和29年(1954年)

1954年4月	財田村・幡多村・高島村・小串村(上道郡)、御津町の一部合併。
1954年9月	自動車文庫(あおぞら1号)活動開始。中古車ジープ。合併地区(今、中牧、大野、芳田、高島、財田、白石、幡多、沖田、福島の10地区)

昭和30年(1955年)

1955年9月	自動車々庫(木造15坪)が完成する。
---------	--------------------

昭和35年(1960年)

1960年11月	自動車新車(プリンススカイウェイ60年式)購入。
----------	--------------------------

昭和36年(1961年)

1961年2月	ミゼット自動車(軽三輪マツダK360)購入
---------	-----------------------

昭和39年(1964年)

1964年1月	自動車文庫機関紙「あおぞら」創刊号を発行する。
---------	-------------------------

昭和40年(1965年)

1965年6月	岡山市立図書館文庫主任者協議会が発足する。
---------	-----------------------

昭和41年(1966年)

1966年8月	家庭配本車スバルライトバン(軽自動車スバル・サンパーK163、400冊積載)購入。
---------	---

昭和44年(1969年)

1969年2月	西大寺市と合併
1969年7月	自動車文庫(ニッサンセドリックバン2,000cc.)を購入、7月24日から「あおぞら号」として、活動を開始。

昭和45年(1970年)

1970年6月	西大寺地区の強い要望により軽自動車(スバルサンパーK64)による自動車文庫「あおぞら2号」の巡回開始。命名式を行う。
---------	--

平成12年(2000年)

2000年8月	あおぞら1号買替購入(トヨタダイナ 3tトラックシャーシ加裝型 1,500冊積載)
---------	---

令和3年(2021年)

2021年3月	あおぞら3号買替購入(三菱CANTER 3.5tトラックシャーシ 加裝型 3,000冊積載)
---------	--